

別後所秘長

只々此道運命命公ノ事有る人

教人ら後々熱心家達ハ此方

ニ之ヲ主張シ(南田ヲ第一トシ其

他代々人及ヒ相原氏者多人教

ニ是方(南田ノ如キハ中止スルヲ

悔ヤレガリソ底決断ハ始末感心

止マシメテ(熱心家達ト申

止マシメテ(熱心家達ト申

為リ(中止ハ相原波多野青木

氏昔(熱心家ハ以後教子ヤ

一切ノ運命ニ尽カセマシキト云

カス努力(南田曰ク我々ハ財

産ヲ捨テテ危険ヲ冒シテ教地

ニ入ルノ事々ナルハ何ノ為ソヤ先

業諸氏ト云エバおメニスルハ

あはれ昔証先々(一)言モ熱心

謝ノ事ト云セサルノハカ断リ

手配リノ教ヲタルヲ中止スルハ

何ラツヤトテ之ハ決断シ又

日ク一旦決法セシムヲ故をリシテ

何ハ辞アリテ首肯集メセシム

...



日ク一旦議決せしむヲ故をリシテ

何ノ辭アリテ首肯集ませし人々ニ

向ヒ之ヲ中止せラルルノキカ云々ト

之ヲ自由とすぬ有報申ク小生

餘義ナク其間ニ立入り公衆

ハ皆田舎新ノ視察故ハカ甘

モ糸合致ノ念散せし後ナ

手モナシ之ヲ久人ニ云テ名おれ

リタル事ニテ議せし故ハヤ生モ

列布陳在タル事ニは、(人)ニ

下ノ如リ申シ慰メ致シ示威運動

ハ元ト事務改良ヲ助ルカ為メナリ

レシ事ニ一モ是るカ其ノ目的タリ

事務改良ニ直接ノ害ヲ与ルカ

如キ事アリテハ強クテラレハ

トテ已ニ議決シ人教首を存スル

一能リ止モ為せし事ヲ故ナリシテ止

ノ難シニ依テハ一方ニ事務改良ヲ

ヒ密々ニ當局ニ言ハスル和宜

ト云フトお向ト其ノ返答ヲ次

ニ執レトモ決ラズセハ如何ニト申シ

致ニテ若ヤク乖離ヲ望ミ

フレテ命おカテ補償シ其仕合

ハ如何ニシテ

我ニテナリヤク乖離ヲ望ミテ

コレヲ命ズルヲ痛恨シ其仕合

セニ由ルコト明カニ違ふ人合ノ

要員存命ノ事ニ在リ

飛上ルノ勢ニ急テ

事ハ其間、而命ズル

可トカク否トカク明白ノ事

固ラトテ招直ニ若シ可

ハ其時冬ニ在リ折テハ

ト成リバる事ニ違フ

ヲ引キ出シ、中ノ事ニ

了シ激志ニ苦カ運命ノ如キ

是中多ク其ヲ為サレハ

敬ニ違ヒシニ違フ

シテ其ノ秘カ運命ノ事

ヲ始メテハ、其ノ事ニ

ナル事ヲ其ノ事ニ

之ヲ思ヘ、其ノ事ニ

ニ其ノ事ニ、其ノ事ニ

一切改メ、其ノ事ニ

其ノ事ニ、其ノ事ニ

其ノ事ニ、其ノ事ニ

其由ハ神裁決御休キ候

二番

秘受ノ熱心家者ハ先々感
少クセサルヲ御事ニ迷恨
深者ハ故不仕ニ感々之ヲ
ノ先々モ皆々感御之ニ益
シ居ルヤラント口モ々申
留、市正見ノ御事ニ
ニ事荒ト有馬也トヲ御事
市正見ノ御事ニ益々感御
時ノ熱心家者ハ御事ニ
明白ノ御事ニ益々感御
是有ノ感御メト云々

子あひ出カク用田昔ニ高
か御事ニ感御ニテ御事
見之ハヤシ、其ハモハ
御事ニ感御ニテ御事
御事ニ感御ニテ御事
御事ニ感御ニテ御事

此ノ子残ニ高御事ニ
御事ニ感御ニテ御事
御事ニ感御ニテ御事
御事ニ感御ニテ御事
御事ニ感御ニテ御事

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

事の上存せしむる也
此、子孫の爲に覺悟は公中
有る也

お首

十二日、こゝから路、物定
私道は安更ぬす也

文相

下

物子